

発行日：2013年7月1日

ライテック

ウイルスバスター常駐の際【みつもり LIGHT】使用時の対処法

現在、みつもり LIGHT 使用時にウイルスバスタークラウドが常駐している場合、ソフトが起動できなくなると言う現象が起こっています。

5月末時点での更新の際にセキュリティが強化されたことによる問題とと思われます。

以下、対処法を紹介しますのでご確認下さい。

【例外設定の手順】

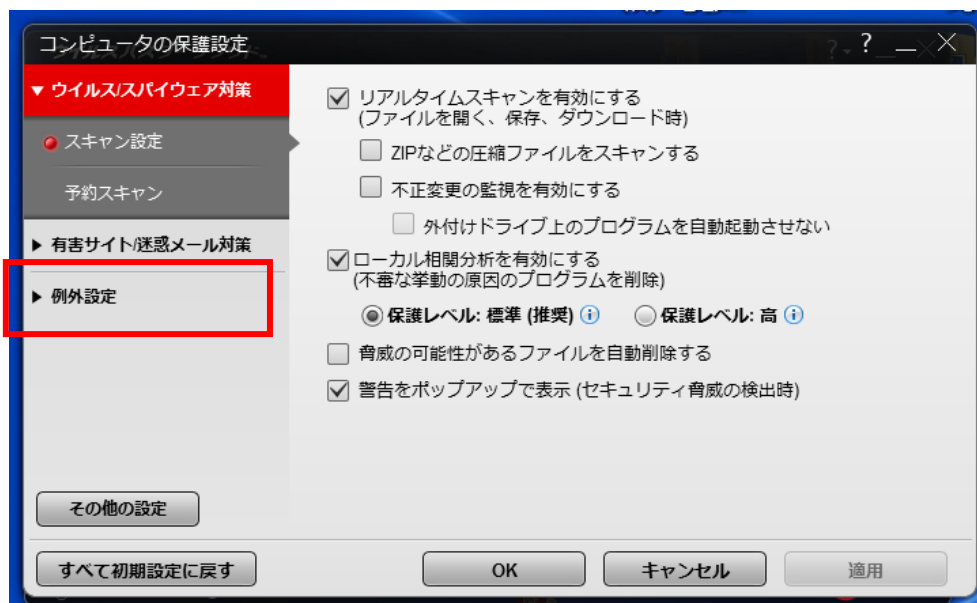
1) ウイルスバスターの設定ボタンを押す。

まずウイルスバスターのメイン画面を起動して以下の設定ボタンを押して、保護設定画面を表示します。



2) 例外設定

例外設定のメニューを選択します。

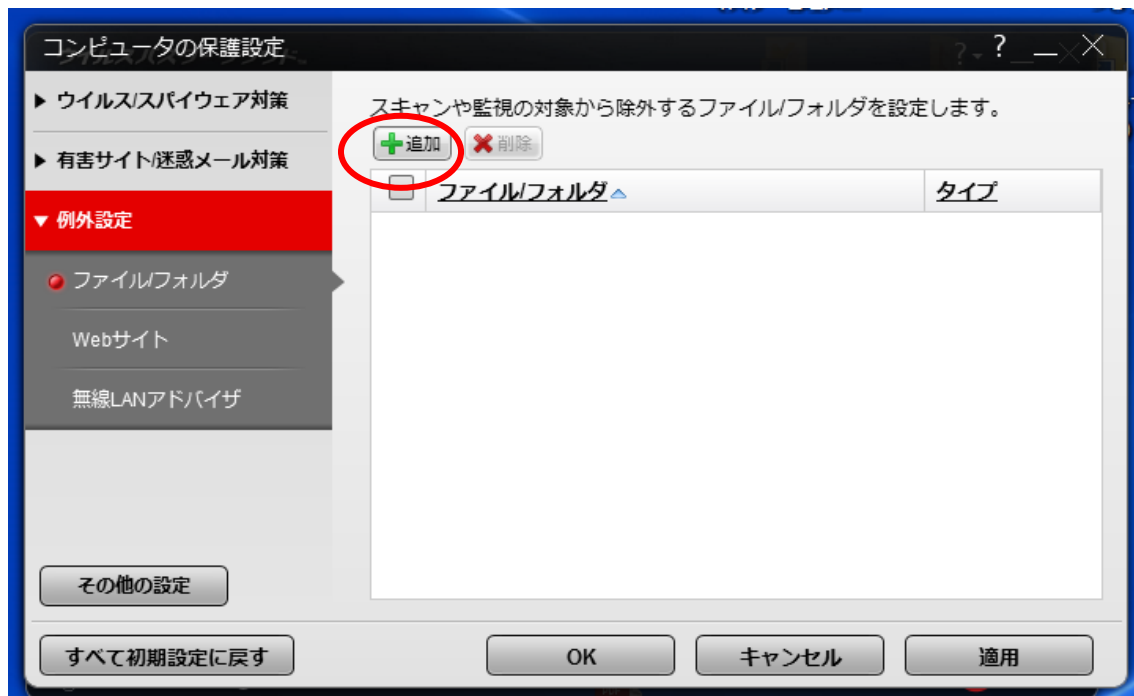


例外設定のメニューより、追加ボタンを押して以下のフォルダーを選択して例外フォルダーとして設定します。

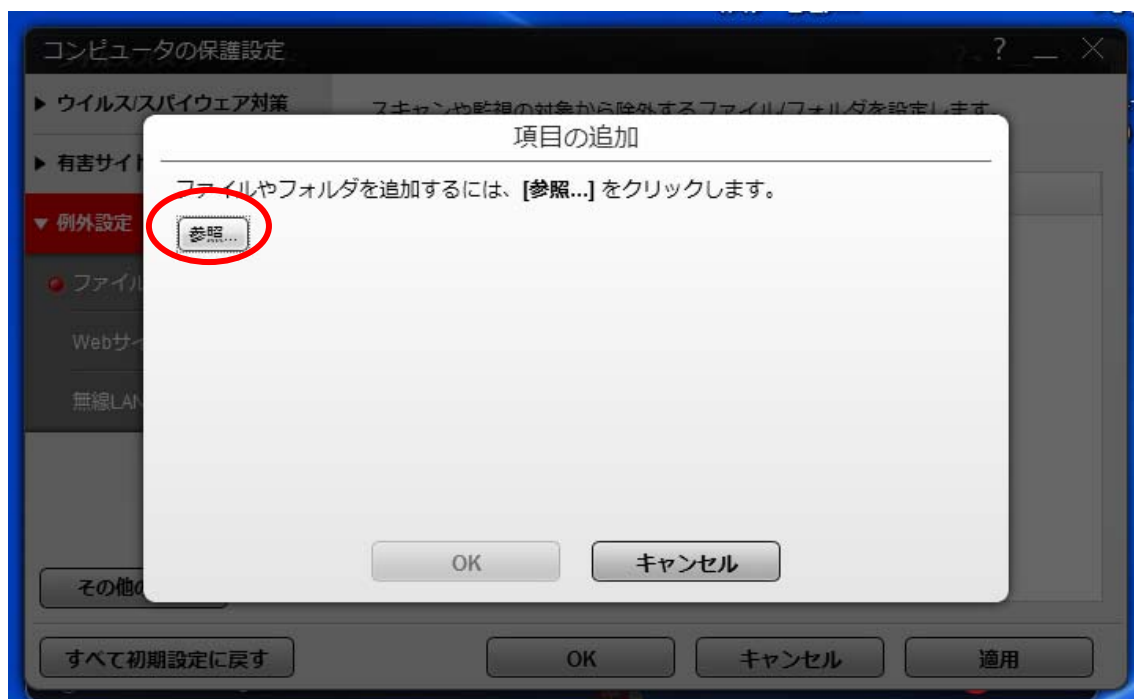
「C:\¥USER¥○○¥AppData¥Local¥Temp」

※この○○には現在ログインしているユーザー名が入ります。

まず追加ボタンを押します。



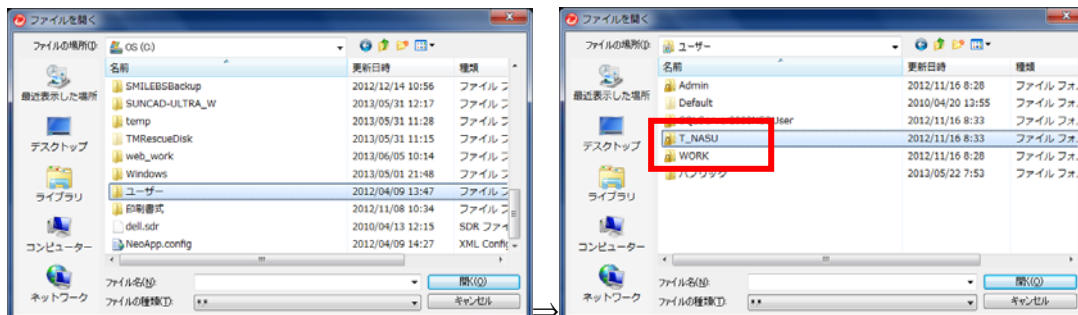
すると以下の画面が出てきますので参照ボタンを押してください。



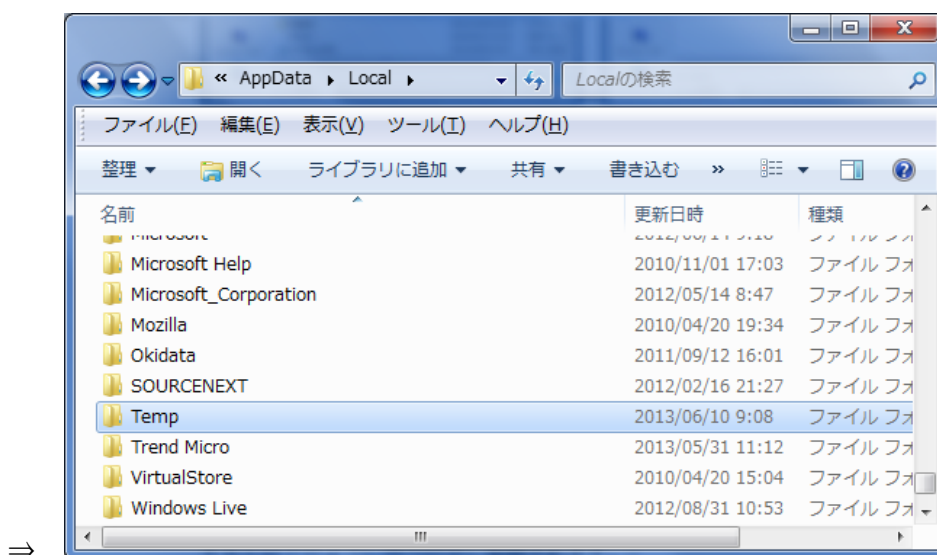
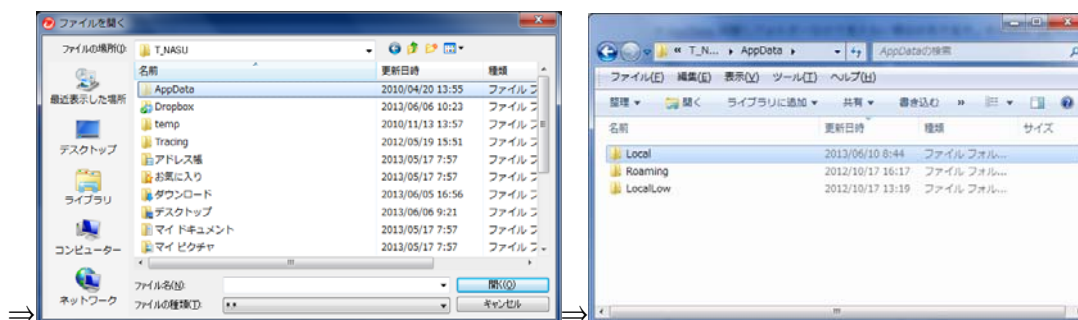
Cドライブ内にある「ユーザー」を選択し、その後通常ログインしているユーザーのフォルダを選択します。そこから「AppData」⇒「Local」⇒「Temp」というフォルダが

あるので、それを選択した状態で「開く」ボタンを押してください。

※AppData は隠しフォルダーなので見えない場合があります。その時は【参照1】をご確認下さい。



※この「T_NASU」のフォルダは実際には各パソコンで設定されてるメインのアカウント名になりますので環境によりフォルダ名が異なります。ご注意下さい。



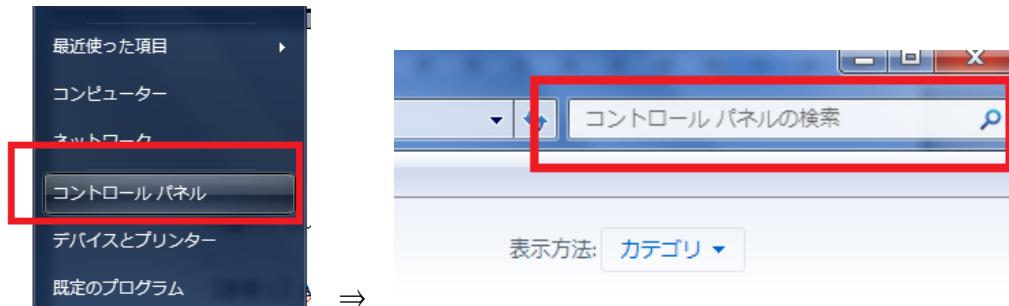
すると以下のように例外設定に登録されます。



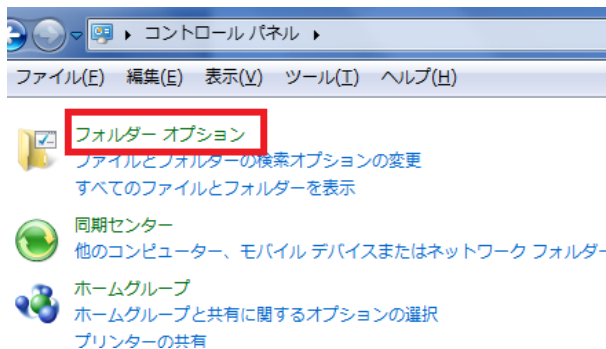
一端パソコンを再起動したら終了です。

【参照 1】 AppData が見えない場合の対処法

設定により、ユーザーアカウントフォルダの先の「AppData」が見えないケースがあります。その際は、まずスタートメニューよりコントロールパネルを表示します。



右上にあるコントロールパネルの検索のボックスに「フォルダー」と入力すると、以下のよう
にフォルダーオプションが表示しますのでそこをクリックして下さい。



フォルダーオプションが表示されたら「表示」タグを開いて、その「隠しファイル、隠しフォルダー、及び隠しドライブを表示する」にチェックを入れて OK ボタンを押して下さい。すると「AppData」が表示されます。

